

平成29年 7月11日

報 告 書

大田原市広報広聴委員会委員長 大豆生田 春美 様

大田原市議会 第4班班長 小池利雄

大田原市議会報告会実施要項第9条第1項の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

1. 日 時 平成29年6月29日（木） 午後7時00分～8時30分
2. 会 場 与一伝承館
3. 担当議員と役割
【担当議員】
 - 小池利雄（班長）
 - 小池利雄（司会者）
 - 滝田一郎（総務常任委員会発表者）
 - 中川雅之（民生 “ ”）
 - 高崎和夫（建設産業 “ ”）
 - 星 雅人（文教 “ ”）
 - 深澤賢市（総務常任委員会）
4. 参加者 別紙受付表のとおり
 - ・市内 18名（男性17名、女性 1名）
 - ・市外 0名（男性 0名、女性 0名）

5. 意見交換会の内容

Q 地方議会改革度調査那須塩原市は 65 位から 15 位に上がった。大田原市はどうか。

A 大田原市と那須塩原市には調査ほどの差はない、と考える。本市議会はほぼペーパーレスを実現した議会であったり、市民 5 分間演説条例など全国的にも珍しい取り組みを行っている。調査では政務活動費の使用公開に加点されるようだが、そもそも本市議会には政務活動費そのものがないので、まるまる点数がつかないのが不利。

Q 議会報告会の告知用ポスターの効果的な貼り場所が地域にない。公民館など役員や利用者しか見ないので逆に目立たない。

A 市の仕事だが議員として問題は共有したい。

Q 「婚活」支援も広域で取り組んでほしい。独身女性をどんどん呼び入れる政策を。

A 移住定住促進事業に取り組んでいる。婚活マスターに限らず、皆さんにどんどん縁結びをしていただきたい。ぜひご協力を。

Q 金田地区は防災組織が少ない。災害が少ないため危機意識が低い。若者が参加しない。敬老会で活動しているようなもの。

A 建設産業常任委員会で視察した（注 視察したのは高知県香美市）香美町へは移住者が多く、保育所が足りなくらいだ。なぜ若者が来るのか。昔の結の考えを実践しているので、それに共感しているのか。

Q 人口減少問題について、議会としてチェック体制がとれているか。

Q 栃木市では移住定住者が多いが、大田原市ではどうか？

Q 大田原市は人口減少、少子化で高齢者ばかりのまちになっていくのではないか。

Q 空き家、空き店舗対策、学校の空き教室などを活用した対策を。

Q 婚活マスター制度も成果が上がっていないようだが。

Q 東芝、シャープの経営不振により市内の若者の働き場所が減ってしまわないか心配している。

Q 防災士活動の報告義務はあるのか。防災士に報酬はあるのか。年齢制限は。

Q 防災士の育成と訓練をしてほしい。

Q 報告会の参加者が少ないのはどうしてか。PR に問題があるのではないか。飲み物の一本くらい必要だ。

Q 大田原は子育て環境がいい。いろいろ恵まれている。良いところを PR すべきだ。

6. 議会報告会の所感等

第2回議会報告会は、各班、各委員会で工夫し、実施できました。
参加人員は減少したものの、意見交換も活発に行われました。
次回は、全員で企画、準備し、報告会をより分かりやすいものにして行きたい。
会場の準備から片づけまで全員でやり、議員間のコミュニケーションを図りたい。
周知用ポスター及びチラシをコンビニに配布して、若い人の参加を促したい。
各議員が動員をかけるよう努力し、参加人数の増加を図りたい。
また、報告会の反省会を開催し、次回に向けた内容の充実を図りたい。